

- 問1 日本最古の歌集である万葉集には、東国などから九州の沿岸警備のために派遣された兵士たちが詠んだ「防人の歌（さきもりのうた）」が収録されています。当時の兵士たちが歌の中で表現していた、共通する心情として最も適切なものはどれか。（2022年 京都府公立入試 類似）
1. 遠い九州の地で、外国の優れた文化を学べることへの期待感
 2. 天皇のために命を捧げて戦うことを名誉とする、兵士としての強い決意
 3. 都での華やかな生活を懐かしみ、貴族の文化に憧れる優雅な気持ち
 4. 律令制度による重い兵役の負担の中で、故郷に残した家族を思う切実な悲しみ
- 問2 古代の租税制度について述べた次の説明のうち、全国各地から平城京に集められた「調」の説明として正しいものはどれか。（2021年 奈良県公立入試 類似）
1. 各地の絹や魚といった特産品を、納税者が都まで運んで納める。
 2. 九州北部の警備のために、防人として兵役につく。
 3. 口分田の面積に応じて、収穫した稲の一部を地方の役所に納める。
 4. 都での労働の代わりとして、布を中央政府に納める。
- 問3 土地制度の歴史において、墾田永年私財法によって確立された、土地を個人の財産として永続的に保有できる権利を指す概念として適切なものを選びなさい。（2025年 大阪府公立入試 類似）
1. 収穫の一部を納めることを条件とした一時的な占有権
 2. 期限の定めのない永久の所有権
 3. 一代限り認められる利用権
 4. 国から一定期間のみ貸し与えられる権利
- 問4 平城京が建設され、和同開珎などの貨幣が発行される一方で、当時の社会では伝染病の流行や政治的な対立が続いていました。このような不安定な情勢に対し、聖武天皇が東大寺に大仏を建立し、全国に国分寺を配置した目的として最も適切な説明を選びなさい。（2021年 岐阜県公立入試 類似）
1. 唐などの外国からの侵攻を想定し、寺院を軍事的な拠点とするため
 2. 貨幣の流通を促進させるため、寺院を金融の窓口として利用するため
 3. 律令に基づき、農民に与えた土地の私有化を恒久的に認めるため
 4. 仏教の力で人々の不安を静め、国家の平和と安定を図るため
- 問5 日本の古代における土地制度について、その仕組みを正しく説明しているものはどれですか。（2026年 秋田県公立入試 類似）
1. 土地の所有者に地券を発行し、収穫量ではなく地価に応じた現金を納めさせた。
 2. 新しく開墾した土地であれば、その土地を永久に私有することを認めた。
 3. 有力な農民に土地の所有権を認め、年貢を村全体でまとめて納めさせた。
 4. 戸籍に登録された6歳以上の男女に口分田を与え、死ぬと国に返還させた。
- 問6 律令体制下の大宰府に関連して、大陸からの侵攻に備える「防衛」の役割を具体的に示す仕組みや施設として、正しい組み合わせを選びなさい。（2018年 大分県公立入試 類似）
1. 博多湾の沿岸に石築地（防塁）を築き、火子（ひこ）を配置した
 2. 九州各地に守護や地頭を配置し、有力な武士に軍事権を与えた
 3. 五カ条の御誓文に基づき、長崎の出島を閉鎖して軍備を増強した
 4. 水城や大野城などの城を築き、東国から徴用された防人を配置した
- 問7 律令国家において、「班田收授法」に基づき人々に与えられた「口分田」の仕組みについて、正しく説明しているものはどれですか。（2018年 大阪府公立入試 類似）
1. 新しく土地を開墾した者に与えられ、その者の私有地として永久に所有することが認められた。
 2. 有力な貴族や寺院に対してのみ与えられ、その収穫はすべて個人の利益となった。
 3. 戸籍に登録された6歳以上の男女に与えられ、本人が死ぬと国に返還する決まりだった。
 4. 戸籍に登録された15歳以上の男子のみに与えられ、子孫が代々受け継ぐことができた。
- 問8 島根県の伝統芸能である石見神楽には、ヤマタノオロチ退治などの演目があります。これらの演目の題材となっている日本神話が記された、奈良時代に成立した歴史書はどれか。（2020年 島根県公立入試 類似）
1. 懐風藻
 2. 日本書紀
 3. 万葉集
 4. 古事記
- 問9 奈良時代に建設された平城京は、当時の国際的な文化を取り入れて設計されました。現在の中国の西安付近に位置し、平城京のモデルとなった唐の都の名称として適切なものを選びなさい。（2020年 長野県公立入試 類似）
1. 大宰府
 2. 長安
 3. 洛陽
 4. 平安京
- 問10 奈良時代、聖武天皇は仏教の力で国家の安定をはかろうとする「鎮護国家」の思想に基づき、各地に寺院を建立しました。聖武天皇がこのような政策をとった背景として、当時の社会状況を正しく説明しているものはどれですか。（2017年 山形県公立入試 類似）
1. 疫病の流行や政治の混乱などの社会不安を、宗教の力で鎮めるため
 2. 各地の有力な豪族を役人として登用し、地方行政を強化するため
 3. 貴族の権威を民衆に示し、重い税を課して財政を立て直すため
 4. 仏教を広めることで、朝鮮半島や中国からの侵略を防ぐ軍力を高めるため
- 問11 8世紀の奈良時代、聖武天皇の時代を中心に栄えた文化について述べた文として、最も適切なものはどれか。なお、この時期の文化は、遣唐使がもたらした大陸の進んだ文化や、シルクロードを経由した西アジアなどの影響を強く受けている。（2024年 福井県公立入試 類似）
1. 聖武天皇の遺品を納めた正倉院に見られるような、国際色豊かな貴族文化
 2. 聖徳太子が厚く仏教を保護したことで興った、日本で最初の仏教文化
 3. 平氏の時代に、日宋貿易によってもたらされた禅宗の影響が強い文化
 4. 遣唐使が廃止された後に発達した、日本の風土や生活に合わせた日本独自の文化
- 問12 奈良時代の年表において、天平文化が栄えた時期に活動した人物について述べたものです。橋や道路の建設、ため池の築造といった社会事業を行いながら、当時禁止されていた民衆への布教活動を精力的に行った僧侶は誰ですか。（2017年 静岡県公立入試 類似）
1. 行基
 2. 鑑真
 3. 道鏡
 4. 最澄
- 問13 律令国家の形成と変化について述べた次の記述のうち、出来事の時期が古い順に並んでいるものはどれですか。対象となる出来事は「大宝律令の制定」「墾田永年私財法の制定」「平安京への遷都」の3点とします。（2020年 沖縄県公立入試 類似）
1. 平安京への遷都 → 墾田永年私財法の制定 → 大宝律令の制定
 2. 墾田永年私財法の制定 → 大宝律令の制定 → 平安京への遷都
 3. 大宝律令の制定 → 平安京への遷都 → 墾田永年私財法の制定
 4. 大宝律令の制定 → 墾田永年私財法の制定 → 平安京への遷都

答え合わせ・解説

問1	答え 4 律令制度による重い兵役の負担の中で、故郷に残した家族を思う切実な悲しみ	律令制度のもと、民衆には租・庸・調などの税のほか、防人のような厳しい兵役が課されていた。防人の多くは東国から徴兵され、遠い九州の地で長期間家族と離れて生活しなければならなかったため、万葉集には彼らが故郷や家族を深く思いやる素朴で切実な歌が多く残されている。
問2	答え 1 各地の絹や魚といった特産品を、納税者が都まで運んで納める。	律令制度下の「調」は、地方ごとの特産物を都に届ける義務を指します。都の役人の給与や儀式の費用、国家の資材として利用されました。選択肢にある「稲の一部を納める」のは租、「労役の代わりの布」は庸、「九州北部の警備」は防人をそれぞれ指しており、制度ごとに納める品目や場所、目的が明確に区分されていました。
問3	答え 2 期限の定めのない永久の所有権	「墾田永年私財法」の名称に含まれる「永年」という言葉は、文字通り「未長く、ずっと」という意味を持っており、土地を「永久」に自分の財産（私財）として持ち続けることができる権利を指しています。それまでの律令制下では、土地はすべて国のものとする「公地公民」が原則であり、農民には「口分田」が貸し与えられるのみでしたが、この法令によって私有という概念が公的に確立されました。
問4	答え 4 仏教の力で人々の不安を静め、国家の平和と安定を図るため	聖武天皇が目指した「鎮護国家」とは、仏教の教えによって災いを取り除き、国を治めるという思想です。当時の日本は、飢饉や天然痘の流行などによって社会が極めて不安定な状況にありました。このような不安を払拭し、中央集権的な国家の結びつきを強めるために、巨大な大仏や全国的な国分寺網を整備しました。土地の私有を認めたのは同時期の墾田永年私財法ですが、これは大仏造立の直接的な目的ではありません。
問5	答え 4 戸籍に登録された6歳以上の男女に口分田を与え、死ぬと国に返還させた。	班田収授の法は、戸籍によって国民の年齢や性別を正確に把握することで成り立っていました。選択肢にある「永久に私有を認めた」ものは後に制定された墾田永年私財法であり、班田収授の法が崩壊していく要因となりました。また、地券や地価に基づく課税は明治時代の地租改正の説明です。
問6	答え 4 水城や大野城などの城を築き、東国から徴用された防人を配置した	7世紀後半、唐・新羅連合軍による侵攻を警戒した朝廷は、大宰府を防衛するために人工の堤防である「水城（みずき）」や、背後の山に「大野城（おおのじょう）」などの山城を築きました。さらに、九州北部の警備にあたらせるため、主に東国から徴用された兵士である「防人（さきもり）」を配置したことが大きな特徴です。
問7	答え 3 戸籍に登録された6歳以上の男女に与えられ、本人が死ぬと国に返還する決まりだった。	大化の改新以降、土地と人々はすべて天皇のものとする「公地公民」の原則が立てられました。これに基づき、政府は戸籍を作成して人々の把握に努め、6歳以上の男女に一定の土地（口分田）を貸し与える班田収授法を実施しました。この土地はあくまで国から借りているものという位置づけであったため、本人が亡くなると国に返す必要がありました。
問8	答え 4 古事記	石見神楽などの各地の伝統芸能や祭礼は、この歴史書に記された神話をモチーフにしているものが多くあります。この書物は現存する日本最古の歴史書であり、当時の人々の世界観や神話を知る上で非常に重要な資料となっています。
問9	答え 2 長安	唐の都であった長安は、碁盤の目のように道路が整然と区画された大規模な都市であり、当時の東アジアにおける政治・文化の中心地でした。日本は遣唐使を派遣してこの都市計画を学び、平城京の建設に反映させました。平城京も長安と同様に、中央を南北に走る朱雀大路を境に、左京と右京に分けられる構造を持っています。
問10	答え 1 疫病の流行や政治の混乱などの社会不安を、宗教の力で鎮めるため	聖武天皇の時代には、天然痘の流行や藤原広嗣の乱による政治の混乱など、深刻な社会不安が続いていました。天皇は仏教を深く信仰し、その力によって災いを払い、国家を守ろうと考えました。これを「鎮護国家」の思想と呼び、その実践として東大寺の造営や国分寺の建立が行われました。
問11	答え 1 聖武天皇の遺品を納めた正倉院に見られるような、国際色豊かな貴族文化	奈良時代の聖武天皇の時期を中心に栄えた文化は天平文化と呼ばれます。この文化の最大の特徴は、唐の文化や仏教の影響を強く受けた国際的な性格にあります。その象徴として、東大寺正倉院には、シルクロードを経由してペルシャ（イラン）などから伝わった国際色豊かな工芸品が数多く収められています。
問12	答え 1 行基	奈良時代の仏教は本来、国家の安泰を祈る「鎮護国家」のためのもので、僧侶が一般の民衆に直接布教することは禁じられていました。しかし、この僧侶は独学で修行を積み、土木技術を駆使した社会事業を通じて民衆の信頼を勝ち取りました。その絶大な影響力に注目した聖武天皇は、のちに彼を大僧正として迎え、東大寺の大仏造立への協力を依頼しました。
問13	答え 4 大宝律令の制定 → 墾田永年私財法の制定 → 平安京への遷都	701年に大宝律令が制定されて律令国家の仕組みが整い、その後、人口増加による土地不足を解消するため743年に墾田永年私財法が制定されました。そして8世紀末の794年に、政治の刷新を目指して平安京への遷都が行われました。これらの流れは律令体制が確立した後に、土地制度の変化などを経て平安時代へと移行していく過程を示しています。